

2021年度 環境活動報告

環境行動実績

※対象範囲：(株)日立物流及び国内連結グループ会社(20社)。

行動計画と目標；脱炭素に向けた全社環境負荷低減活動の推進

NO.	目的	活動内容	2021年度 注1)	
			目標	実績
法令の遵守(条例等を含む)				
1	資源循環促進	廃棄物(一般、産業)等排出物の適正管理	処理等の確実な推進	左記を実施
2	環境管理レベル向上	上記以外の環境法令の遵守	フロン・PCB・浄化槽・自動車等の関係法令・条例への対応	同上
脱炭素に向けた取組み				
3	地球温暖化防止	「建物」の電気使用量削減(電気使用量/延床面積) ※CO ₂ 排出量削減	対前年度比▲1.76%削減 (従来目標▲1.00% + さらなる低減▲0.76%)	8.1%削減
4		「車両」の車種別 燃費向上(走行距離/燃料使用量) ※CO ₂ 排出量削減	対前年度比+1.76% (従来目標1.00% + さらなる低減+0.76%)	0.4%向上
		CO ₂ 総排出量、グループ合計	—	2.1%減
		2021年度CO ₂ 総排出量:110,616トン、建物の延床面積当りCO ₂ 排出量:28.9kg/m ² (CO ₂ 総排出量本部Gr別内訳) ①東日本営業本部Gr:35,305トン ②首都圏営業本部Gr:13,367トン ③中部営業本部Gr :10,727トン ④西日本営業本部Gr:22,502トン ⑤本社管轄 :23,469トン ⑥その他Gr会社 :5,246トン		
5		LED照明設備の導入推進	21年度目標:14拠点 22年度末までに自家拠点 100%導入目標	15拠点で実施
6	物流サービスに落し込んだ 環境対応強化	モーダルシフトの推進	新規顧客/新規ルートの開 拓推進	内航船輸送へのモー ダルシフト等の実施。 注5)②
7		共同輸送の推進	プラットフォーム化、配送拠点集 約、ラウンドユース等による輸 送効率化の積極推進	左記を実施
8		より環境性能に優れたエコカー(最新型エコカー)への代替 注2)	(最新型エコカー比率) 99%	98%
			(エコカー比率) 100%	100%
環境負荷の低減				
9	資源循環促進	廃棄物の再資源化率向上 注3)	99%	99%
		(グループ合計) 2021年度廃棄物発生量:32,245トン (廃棄物発生量本部Gr別内訳) ①東日本営業本部Gr:10,923トン ②首都圏営業本部Gr:2,406トン ③中部営業本部Gr :3,306トン ④西日本営業本部Gr:9,400トン ⑤本社管轄 :3,836トン ⑥その他Gr会社 :2,374トン		
10		水利用の効率化推進 (水使用量/延床面積)	床面積原単位を前年度実 績比1%以上抑制	7.3%減
		(本部Gr別水使用量床面積原単位内訳) 2021年度水使用量:295,018m ³ (本部Gr別水使用量内訳) ①東日本営業本部Gr :107,061m ³ ②首都圏営業本部Gr :30,467m ³ ③中部営業本部Gr :19,176m ³ ④西日本営業本部Gr :64,534m ³ ⑤本社管轄 :36,992m ³ ⑥その他Gr会社 :36,788m ³ ①東日本営業本部Gr:0.079m ³ /m ² ②首都圏営業本部Gr:0.060m ³ /m ² ③中部営業本部Gr :0.052m ³ /m ² ④西日本営業本部Gr:0.075m ³ /m ² ⑤本社管轄 :0.070m ³ /m ² ⑥その他Gr会社 :0.181m ³ /m ²		
11		グリーン購入率の向上 注4)	85%	82%
12	物流サービスに落し込んだ 環境対応強化	脱プラスチックに向けた環境対応の促進	リデュース、リターンブル、リサイ クル、自然環境に拡散しない 方法での廃棄等	左記を実施
13	生物多様性と生態系の 保全	森林資源の保護	コピー用紙使用量を前年度 実績比1%以上抑制	4.7%減 (A4換算使用量)

教育・コミュニケーション				
14		VC21と連携した環境活動の充実	VC活動に環境を意識した活動の落とし込み	左記を実施
15	環境コミュニケーション促進	環境に関する社会貢献活動等の推進	社外清掃活動等への積極的な参加 ライトダウンの実施(年2回)	事業所周辺・地域の清掃活動への参加、夏至/七夕のライトダウン、グリーンカーテン設置等
16		環境広報活動の充実(情報開示と発信の強化)	環境関連表彰への応募、環境広告宣伝、情報開示等	社外表彰5件受賞 注5) 社外HPへの情報開示
17	環境意識向上	「環境e-ラーニング」受講率	99%	99%
環境マネジメント				
18	環境管理レベル向上	「環境重点テーマ」設定による環境活動の促進 *14) 項と連動	やらされ感→わたくしごと化へ(VC21の概念)	左記を実施 (250拠点)
19		「省エネ点検表」による運用改善の推進	照明・空調の運用状況を確認し、一層の改善の推進(1回/期)実施	左記を実施 (171拠点)
20		環境負荷実績データの管理と精度向上 ・環境負荷調査システム活用による管理レベル向上[国内] ・拠点別環境負荷調査の確実な実施 [海外]	エネルギー使用量、廃棄物量等の環境負荷データの確実な把握	左記を実施
21		環境・車両管理の自己監査充実	本部部門やGr会社による計画実施	左記を実施

注1) 目標値は、日立物流グループ連結ベースです。

注2) 最新型エコカーの種類;電気自動車、プラグインハイブリッド車、ハイブリッド車、燃料電池車、天然ガス車、LPG車(併用車含む)、国が認定している「低燃費車(H27、H32年度燃費基準達成車)」、「低排出ガス車(H17、H21、H28、H30年度規制車)」、「ポスト新長期規制適合車(H28年度規制車)」。

注3) 再資源化率=(再使用量+再生利用量+熱回収量)/総排出量

注4) グリーン購入率:E-sourcing Mall(電子購買システム)にて購入した事務用品の内、エコ製品の比率。

注5) 社外表彰案件

- ① 令和3年度グリーン物流パートナーシップ優良事業者表彰「物流DX・標準化表彰」受賞(国土交通省・経済産業省主催)
件名:海上コンテナ転用による資材国内輸送と同一コンテナでの製品輸出
- ② 令和3年度モーダルシフト取り組み優良事業者賞「有効活用部門賞」受賞(一般社団法人日本物流団体連合会主催)
件名:内航船輸送を活用した九州⇄関東間モーダルシフト輸送
- ③ 第22回物流環境大賞「先進技術賞」受賞(一般社団法人日本物流団体連合会主催)
件名:スマートウェアハウス(EC物流向けシェアリング自動倉庫)運営による環境負荷低減
- ④ 2021日本パッケージングコンテスト「経済産業大臣賞」「テクニカル包装賞」ダブル受賞(公益社団法人日本包装技術協会主催)
件名1:大型装置の国内輸送用梱包材開発「経済産業大臣賞(ジャパンスター賞)」
件名2:洗濯機下部の組トレイ改善:円弧(大R)による辺の湾曲化「テクニカル包装賞」

※海外の行動計画と目標は、国内に準じた対応可能な活動とし、各国法令を遵守する。